

消費者安全調査委員会の今後に関する検討について

令和4年9月末で消費者安全調査委員会は活動10年間の節目を迎える。これを契機として、これまでの10年間（第1期～第5期）を総括するとともに、今後取り組むことが期待される新たな課題について検討を行う。

本件検討の結果が、第6期以降の調査委員会の参考となることを期待する。

検討に当たっての視点

1. 活動実績の整理
 - ・ 事故等原因調査の実績
 - ・ フォローアップの実績
 - ・ 2020年12月の「消費者安全調査委員会の発信力の強化に向けた考え方」とりまとめ以降の活動実績（「意見具申権限の活用」等）
2. 活動実績の評価
 - ・ 設立時の目標に基づく評価
 - ・ 「消費者安全調査委員会の発信力の強化に向けた考え方」に基づく評価
3. 申出や調査案件、意見具申の傾向の変化、消費者を取り巻く時流の変化
 - ・ 調査案件そのものの変化（分野、事故要因の複雑化の有無等）
 - ・ 再発防止策の特徴（製品設計、保守管理、使い方等）
 - ・ 製品事故の発生状況や安全技術の進展の状況
 - ・ 社会情勢の変化（高齢化等）と新たな技術（AI、IoT等）
4. 今後取り組むことが期待される新たな課題の検討

スケジュール

令和4年1月	議論開始、有識者等ヒアリング等
令和4年夏頃	最終まとめ